

令和2年度 砺波市野球大会実施要綱

砺波市野球連盟が主催する軟式野球大会の運営を適正化し、競技技術及びマナーの向上を図ることを目的とし、公認野球規則、全軟連競技者必携及びこの実施要綱に基づき実施する。

1 試合は、トーナメント方式、7回戦又は1時間30分を超えて新しいイニングに入らないものとする。ただし決勝は時間制限を適用しない。

2 同点の場合は、延長戦は行わずタイブレーク方式（特別延長戦）を適用する。決勝戦も同様とする。

※最終回の前の回で同点の場合は、最終回よりタイブレーク方式（特別延長戦）を適用する

※次の回で時間を超えると予想される場合は、次の回よりタイブレーク方式（特別延長戦）を適用する。

【タイブレーク方式】

継続打順で、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁の走者とする。すなわち、0アウト・二塁の状態にして1イニングを行い、得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合は、これを繰り返す。

※9回を完了して決着しない場合は、抽選制度を適用する。

3 得点差によるコールドゲームは、5回以降7点差とする。決勝戦も同様とする。

4 雨天又は、日没によるコールドゲームは、5回戦で成立するものとする。

5 チームは、3回終了後直ちにオーダー表を提出し、攻守を決める。ただし、第1試合は30分前とし、試合のできる状態にあること。

6 試合開始予定時刻になってもプレーができる状態になっていない場合は棄権とみなす。

7 抽選番号の若いチームは、ダッグアウト（ベンチ）は1塁側とする。

8 ベンチに入る選手は、最低10名以上でなければ原則として認められない。

9 試合中にダッグアウト（ベンチ）に入れるのは、チーム代表者、スコアラー、登録された監督及びコーチ、選手及びマネージャーのみとする。

10 服装については、全員がユニフォーム、帽子、ストッキング等、同色、同形、同意匠でなければならない。

11 試合前のシートノックは行わない。

12 プレーヤー及び審判に対する個人攻撃を厳禁する。違反した場合、審判又は控審判が注意をあたえる。再度注意をあたえても聞かないときは退場させる。

13 抗議権は当該プレーヤー及び監督又は、主将のうち1名のみとする。

14 ストライク、ボール、セーフ、アウト等の判定に対する抗議は厳禁する。

15 攻守交替は全て駆け足で実行すること。

16 試合中内野手間の転送球は、1回以内とする。ただし、天候・時間等により中止する場合もある。

17 グラウンド内はもちろんのこと、ベンチ内での喫煙は厳禁する。

18 試合終了後のグラウンド整備、ダッグアウト（ベンチ）内の整理、清掃、ごみの持帰りは各チームで責任をもって行うこと。

19 試合に出場する捕手及びブルペンの捕手は、ファールカップを着用すること。

20 学童・少年部はシートノック時の補助員は全員ヘルメットを着用すること。

21 学童・少年部の投手の投球制限

学童部（H31以降） 1人の投手は、1日70球以内（ただし4年生は60球以内）を投球できる。

（60球はR2以降） 試合中に70球（60球）に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。

少年部（R2以降） 1人の投手は、1日100球以内を投球できる。試合中に100球に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。また、1週間の投球数は350球以内とする。